



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第7回例会(8月23日)
平成25年8月30日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)
FAX(653)5622
例 会 日 毎週金曜日12時30分～

会 長 平井 滋
幹 事 平野 佳則
会 報 金子 眞也
クラブ直通電話 TEL(653)5682

Engage Rotary, Change Lives. 'ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を'…… Ron D. Burton

ゲスト卓話

「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の成功に向けて」



岩手県 国体・障がい者スポーツ大会局長

松岡 博 様

はじめに

本日は、お招きをいただき、大変ありがとうございます。4月から、県の国体・障がい者スポーツ大会局長をしている松岡と申します。3月までは、久慈の県北広域振興局に勤務していましたが、久慈のロータリークラブの皆さんにも大変お世話になりました。これから、貴重なお時間をいただき、3年後に開催される「第71回国民体育大会」と「第16回全国障害者スポーツ大会」の話をさせていただきます。

岩手での国体開催については、平成19年から、その準備を進めてきましたが、一昨年の東日本大震災津波により、一時は、本県での開催が危ぶまれる時期もありましたが、大震災で甚大な被害を受けた本県で国体を開催できることとなったのは、沿岸の被災地域を含め県内の各市町村や、競技団体、経済団体から、「国体をやろう」、「復興のシンボルとなるような国体にしよう」という強い声、要望があり、「岩手で予定どおり国体を開催する」ことで県全体が盛り上がったことが、大きな力となりました。

さらに、全国の競技団体・関係団体からも、力強いご支援、ご協力をいただき、大震災からの復興を最優先に取り組んでいる中で、国体を

開催できることとなりました。改めて、皆様方に感謝申し上げます。

今度の国体は、

- ①昭和45年以来、46年ぶりとなるものであり、
- ②大震災の発生後、被災地域で行われる初めての国体となります。
- ③平成28年は、まだまだ、大震災からの復興に、盛んに取り組んでいる時期であります。国体という我が国最大のスポーツの祭典を、岩手の底力、パワーを最大限に発揮し、成し遂げることは、私たち県民の大きな自信となり、夢や希望をもって、力強く前進するための「復興のシンボル」として、復興を進める大きな力、原動力となるものと考えているところです。

前回の岩手国体

前回の岩手国体の状況ですが、岩手国体が開催された昭和45年は、国勢調査で、人口が初めて1億人を突破した年であり、本県の人口も、現在は130万人を割りましたが、当時は140万人でありました。

高度経済成長期の真っ只中にあり、日本万博が大阪で開催され、また、植村直己さんなどが、日本で初めてのエベレストの登頂を果たした年

です。

釜石市で、夏の大会の開会式を行った時には、当時皇太子殿下であられた天皇陛下のご臨席をいただいております。

85年間燃え続ける平泉の中尊寺の法燈から「炬火」を採火し、当時63あった県内の市町村1,500キロを、13,000人に引き継がれて、15日間かけて炬火リレーでつなぎました。

今度の国体の「炬火」をどのようにするかは、現在、市町村等のご意見を伺いながら検討していますが、各市町村が、地域の文化・伝統にちなんだ方法で火をおこし、その「炬火」を、一つに集めるという「集火」方式というものを考えています。

式典では、1万人以上の県民の参加により、伝統芸能のほか、幼児から大人まで幅広い年齢層による集団演技が披露されました。

岩手が優勝した競技の一部を掲げますと、卓球、ボクシング、自転車、ラグビー、クレ射撃、弓道、相撲、そのほか、軟式野球、バトミントン、ボートなどが優勝し、見事、天皇杯をいただきました。

県内の各地で行われた、応援や、おもてなしの様子ではありますが、婦人会の皆様、女子高生、自衛隊、民泊のご主人など、大勢の県民の方々の参加、協力により、盛大に国体が開催され、岩手が国体で一つにまとまり、明るい未来に向かって進んでいくような、そんな国体だったと記憶しています。

3年後の今度の国体は、大震災からの復旧・復興に取り組んでいる大変な時期での開催となりますので、それだけに、何とか、みんなが元気に力強く、前に向かって進んでいけるような国体に、是非していきたいと思っています。

今度の国体・大会

今度の国体、全国障害者スポーツ大会の概要です。

平成28年は、8月に、リオデジャネイロでオリンピックが開催される年です。

その1か月後に、国体が、10月1日から11日までの11日間、また、全国障害者スポーツ大会が、国体終了後、十数日間あけての3日間、開催される予定です。

オリンピックが開催される年の国体となるので、オリンピックに出場した選手が、大勢、岩手国体に選手として、あるいは応援に来てくれるものと期待しています。

総合開会式・閉会式は、北上市の総合運動公園で行うこととしており、また、沿岸地域も含め、県内のすべての市町村で、競技が実施されます。（※パンフレットで、市町村ごとの競技、マスコットキャラクター等を紹介）

「オール岩手」で取り組む

今度の国体は、県民の皆様、企業・団体の皆様と一緒に、「オール岩手」で、開催の準備を進め、本番の大会に臨みたいと考えています。

岩手での国体・大会を、心のこもった、素晴らしい大会にするためには、県民一人ひとりの参加・協力が必要であり、その「オール岩手」の取組の一つとして、開催準備や本番の大会運営を支えていただくのが、多くのボランティアの皆さんです。

特に、全国障害者スポーツ大会は、「ボランティアの大会」と呼ばれるほど、ボランティアの果たす役割が重要であり、5,500人の選手団と同じ規模の、5,000人以上のボランティアが必要となります。

手話、要約筆記などのボランティアは、簡単にはできないので、今年度から、ボランティアの養成を行っていきます。

また、皆様方に、特にお願ひしたいことなのですが、企業協賛とか、募金をいただければ大変ありがたいと考えております。

国体が開催される平成28年まで、募金、企業協賛をお受けしておりますので、お知り合いの方などにも、声をかけていただき、ご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。

式典・イベントへの参加や、花いっぱい運動、また、本県を訪れる方々への温かいおもてなし、さらには、各都道府県の応援団を結成するなど、様々な県民運動を展開し、全国の皆様から、「岩手で開催して良かった」と言ってもらえるようにしていきたいと思っております。

国体というのは、多くの県民の皆さんが参加する「地域づくり、まちづくり、ひとづくり」そのものと考えており、国体の開催を通じて、地域の一体感や、活力・元気を生み出し、大震災からの復興のみならず、新たな発展に向けて、みんなで取り組んでいく力をつける契機にしたと思っています。

おわりに

最後となりますが、平成28年の国体、そして、全国障害者スポーツ大会を通じて、

- ①大震災からの復興に向かって、力強く前進する岩手の姿、東北の姿を、見ていただくとともに、
- ②復旧・復興のために数々のご支援、ご協力をいただいた全国の皆様方に、感謝の気持ちを伝えていきたいと考えております。

私ども、精一杯がんばってまいりますので、どうかよろしく願いいたします。

以上で、説明を終わります。大変ありがとうございました。

平成28年（2016）開催

希望郷 いわて国体

第71回国民体育大会

希望郷 いわて大会

第16回全国障害者スポーツ大会

広げよう 感動。伝えよう 感謝。

